広報 かるまい 4
平成29年（2017年） No.697

新聞紙シャワーで「広場からの巣立ちを祝福」

－ピヨピヨ広場修了式－
（3月6日、青少年ホーム）

今月の主な内容

■町長・教育委員長施政方針 …2～7
■平成29年度職員配置 ……8～9
■町教育委員会児童・生徒表彰…11

町議会３月定例会が２月28日から３月13日まで開かれました。初日の施政方針演述で山本賢一（けんいち）町長は「豊かで安心して生活できる魅力ある地域社会の創造に向け、身近な社会資本の整備、地域福祉の向上と学校教育環境の充実などを基本としたまちづくりを推進する」と決意を述べました。本年度の主な施策、事業などについてお知らせします。

-町長施政方針-

豊かな暮らしを支えるまちづくり

【町道整備・橋梁維持】

町道整備事業については、参勤街道線、蛇口蜂ヶ塚線、細谷地笹渡百鳥線、焼切万谷線、赤石峠小玉川線、みそころばし竹谷袋線、軽米高家線を継続して実施し、下小路保育所線の歩道整備事業も引き続き行います。

昨年発生した台風10号による町道・河川の災害復旧事業についても早期復旧に向け事業を進めます。

【防災対策】

行政区などを単位として自主防災組織の設立を推進するとともに、各種訓練を計画実施するなど、災害時の自助、共助の取り組み充実を図ります。

老朽化している屋外防災行政無線については、本年度も拡声子局の整備を進めることとしており、災害に関する情報の提供が、適切に行われる体制を確立します。

【交通安全対策】

新たに75歳以上の高齢者を対象とした「高齢者運転免許証自主返納支援事業」などにより、高齢者の交通事故防止に努めます。

次世代を担う子どもを輪禍から守るため「高齢者及び子どもの交通事故防止」を重点目標に、関係機関・団体などと連携を図り、交通安全教室の開催や街頭啓発活動など交通安全指導を推進します。

『黄色い羽根』街頭啓発運動

【消費者行政推進事業】

近年、悪質な契約や商法が世代の広い範囲で発生しており、二戸消費生活センター相談員の活動は必要不可欠なものとなっています。研修会などの参加による職員の窓口対応のスキルアップとともに、構成市町村が連携して二戸消費生活センターの存続と支援を継続し、皆さんが安心して暮らせるよう努めます。

【住環境・上下水道】

老朽化した町営住宅については建替えを実施し、一般住宅の耐震診断費や耐震改修工事費への助成事業、住宅リフォーム奨励事業についても継続して進めます。

公共下水道事業は本年度、向川原地区の管路敷設工事を進め、供用開始区域での下水道の普及促進に努めます。

水道事業は、老朽化の著しい小軽米地区の整備について、引き続き配水管敷設工事などを進め、観音林地区と山内地区、町内給水区域の老朽化した管路施設については、計画的な更新に努めます。

【公共交通対策】

町民バス・コミュニティバスについては、今後も利用される皆さんの要望などを踏まえつつ、利用しやすくよりよい交通手段となるよう取り組んでいきます。

結いの精神のまちづくり

【行政区活動交付金等】

地域の自主的・主体的活動を支援することを目的とした「行政区活動交付金」と「地域活動支援事業費補助金」については、各行政区、町内会がより利用しやすい制度となるよう見直し、自主防災組織の設立や事業など新たな取り組みについても対象としたいと考えています。

協働参画地域づくりチャレンジ事業は、補助要件などを見直し、地域と行政が同じ視点で快適で住みよい地域づくりを推進します。

高齢者もいきいき暮らすまちづくり

【国民健康保険】

平成30年度からの国保の都道府県化を控え、県移行がスムーズに行われるよう、国保会計の運営をこれまで以上に慎重に進め、被保険者への保健指導と適切な医療費抑制に努め、県から示される標準保険税率なども見極め、町民への制度周知に努めます。

【後期高齢者医療】

制度の持続性を高め、世代間・世代内の負担の公平性を図るため、４月から後期高齢者医療保険料の軽減特例措置が見直されます。今後、広報や出前講座などでの制度のきめ細やかな周知を図ります。

【高齢者福祉】

４月から介護予防・日常生活支援総合事業が開始されます。地域包括ケアシステムの構築のため、関係機関と横断的な連携を強化するとともに、在宅生活を支援するためのサービスの充実を図ります。

好評を得ているふれあい共食事業は、開催地区を２地区増やして18地区での開催予定としており、今後も地域住民が主体となった介護予防活動の推進に努めます。

【障がい者福祉】

平成25年度から32年度を計画期間とする軽米町障害者福祉計画に基づき、障がい者が自立した社会生活を営むことができるよう、障がい福祉サービスや装具の給付、相談支援体制の強化に努めます。

【保健事業】

第２期特定健診等実施計画の最終年度になるので、受診率などの目標達成に向け、実施体制を検討します。

町が独自に行っている50歳人間ドックについても、受診者の利便性を考えた事業実施と、受診後の健康指導の充実を図ります。

小・中学校の学校保健委員会と連携し、親子で栄養バランスの良い食事に取り組んでいるほか、脳卒中予防や高血圧対策として、減塩普及活動を推進します。

【こころの健康づくり】

ゲートキーパー養成講座の開催や、傾聴ボランティアが活動しやすくなる工夫に努め、ふれあい共食事業や健康教室などで自殺予防講演会を実施するなど体制を整備していきます。

子育て支援日本一のまちづくり

【子育て支援（医療費助成）】

未就学児と妊産婦の医療費助成は「現物給付制度」の導入により医療機関での窓口負担をゼロにし、児童生徒医療費助成の対象者を高校生まで拡大したことで、次代を担う子どもたちが、いつでも安心して医療が受けられ、健やかに育つ環境を確保します。

【地域子育て支援事業】

子育て世代は、社会を支える要であり、今後増え続ける高齢人口を支える世代でもあります。将来に夢を持ち、子どもたちが健やかに成長できるよう、子育て支援の取り組みを推進します。

【子育て支援】

育児不安についての相談などを行う「ピヨピヨ広場」を引き続き青少年ホームに設置するほか、「軽米児童クラブ」を小軽米、晴山小学校の児童も利用できるよう、送迎事業を継続します。

常設保育園での２人目以降の保育料原則無料化についても継続し、保育園での一時預かり保育については、実施に向けて引き続き検討します。

【保育園等】

平成27年から実施している野外保育、要支援児へのきめ細やかな対応などの特色ある保育に継続して取り組み、保育の質の向上を推進します。

【学校関係】
町単独で学力向上支援員と特別支援員をすべての小中学校に配置し、個性に応じたきめ細かな指導の充実を進めます。
学校給食では、町内で生産された食材を活用し、バランスのとれたメニューを提供するとともに、生産者を交えた給食交流会など食育を推進しながら、給食費の一部を補助することで子育て支援を図ります。

【生涯学習】
「生涯学習の町」を宣言してから30周年を迎え、新年度も住民の手による主体的な学習活動を支援し、演奏会の実施など心の豊かさにつながる多様な学習機会を提供し、文化の薫る軽米町を作っていきます。

【体育施設・文化施設】
老朽化が進む町民体育館の修繕工事などを進め、住民の健康増進を図ります。
中央公民館と町立図書館の施設整備については、皆さまのご意見を伺いながら、交流駅構想との整合性を図り、総合的に整備していきます。

生涯学習宣言30周年記念イベントでのソーラン演舞

豊かな自然と美しい景観のまちづくり

【環境衛生】
燃えるごみを町内全域で週2回収集を行うこととし、新たに使用済み小型家電回収事業を実施することで、町民や事業者の皆さまと連携を図りながら、地域における3R運動（減らす・再利用・再資源化）を進めます。
生ごみ処理事業は、民間施設を借りて、町直営で消滅型の処理体制を実施します。
民間事業者による最終処分場建設計画については、引き続き事業者の動向を注視しながら、八戸圏域水道企業団、洋野町と連携し建設の阻止、反対の立場を訴えます。

【花いっぱい運動】
町を訪れる町内外の人々の目を楽しませるとともに、ふれあいと地域づくりの輪が広がるように「花いっぱいコンクール」や「チューリップ植栽事業」への参加を呼びかけていきます。

資源を活かした地域産業のまちづくり

【TPP】
TPP、アメリカと2国間の通商協定などの関連施策については、内容などを注視しながら関係機関と連携し、対策などを検討していきます。

【水稲】
県から配分を受けた平成29年産米の生産数量目標は、2188トン、面積に換算して441ヘクタールとなり、28年産と比較して8ヘクタール減少しています。
引き続き農家所得の向上を図るため、飼料用米の取り組みについて関係機関と連携し、収量向上のための指導を徹底していきます。

【畜産振興】
和牛の繁殖経営では、経営体質の強化を図るため、飼養管理における低コスト化や、担い手農家の拡大を推進するための施策に取り組みます。
一方で子牛価格の高騰で肥育経営が苦しい経営を余儀なくされていることから、引き続き肥育素牛の導入を支援していきます。
中小家畜の振興については、国や県の価格保証制度に町としても引き続き助成し、中小家畜の維持と安定的発展を図ります。

【林業関係】
木炭・しいたけ生産者や森林組合と連携し、広葉樹里山森林資源活用再生事業を推進しながら、特用林産物の生産振興を図ります。
林道災害復旧事業3か所は現場の施工条件が整い次第早急に発注します。

【日本型直接支払制度】
多面的機能支払い交付金事業16組織、中山間地域等直接支払い交付金事業31組織、環境保全型農業直接支払事業3組織に対して支援を行っていきます。

【農地活用・担い手育成】
機構集積協力金交付事業では、今後も農地の借り入れ、貸し付けに関する機構集積協力金交付事業を活用し、担い手への農地の集積、集約化を推進します。
また、現在2組の夫婦を含め9人が給付を受けている新規就農・経営継承総合支援事業の周知を図ります。

【農業基盤整備】
袰主地区の農道整備が工事着工予定となっています。

【農業施設災害復旧事業】
農地農業用施設災害復旧事業28か所は、本年の作付に支障のないよう復旧に努めます。

【商工業振興】
商工業者の育成・指導団体である軽米町商工会や軽米中央商店会が実施する各種事業に対して支援し、地元企業の経営基盤強化と商店街の賑わいを図ります。

【中心商店街の活性化対策】
引き続きプレミアム付き町内共通商品券を発行するなど、町内商店などの利用促進に努めるとともに、商工会と連携し、少人数制のミニ講座「かるまいまちゼミの会」を開催することで、商店街の魅力の向上に努めます。

【地場産業の振興】
軽米のものにこだわり、確かな品質を保証し、「食の町かるまい」を県内外に発信するとともに、「かるまいブランド」として、地場産品の特産品化と販路拡大事業を支援することにより、新たな農産物や特産品の掘り起しと、既存商品のブラッシュアップを図り、地場産業の振興に努めていきます。
また、商工会が取り組んでいる「かるまいシリアルライフ」開発推進委員会を中心に、特産品である雑穀について、郷土食のイメージから脱却し、「軽米産シリアル」としてのブランド構築及び商品化のための調査研究を行っているところであり、町としましても特産品化に向け必要な支援をしていきます。

多様な交流が生まれるまちづくり

【観光】
実行委員会を組織して実施する軽米秋祭りは、9月16日から18日までの3日間に開催します。
森と水とチューリップフェスティバルは、5月の大型連休中の開花に向け、早咲きから遅咲きの珍しい品種を揃え、子どもからお年寄りまで楽しめるイベントを検証します。5月7日には、県ウオーキング協会との共催事業として、ハートフル・スポーツランドの芝桜とフォリストパークのチューリップを生かしたウオーキング大会を引き続き開催し、花の町かるまいを積極的にPRしながら、誘客促進を目指します。
平成28年度に初めて開催した「かるまい冬灯り&ハイキューフォトロケーション」は、イルミネーションの点灯など大変好評を得ており、寒さの中でも冬の賑わいを創出し、町中心部の活性化を図るため、本年度も引き続き支援します。

かるまい冬灯りのイルミネーション

当初予算

豊かで安心、魅力ある地域の創造

国が策定した平成29年度の地方財政計画は、ほぼ前年並みの予算が確保されましたが、当町では、地方交付税算定項目の見直しなどから、厳しい財政状況になると見込んでいます。
このような財政状況を踏まえ、歳入では、町税収入の確保や適正な受益者負担をお願いしながら自主財源の確保に努め、歳出では、費用対効果の検証による事務事業の見直しなど、歳入に見合う歳出の抑制を基本とした健全財政の取り組みを強化しながら、豊かで安心して生活できる魅力ある地域社会の創出に向けた、身近な社会資本の整備、地域福祉の向上と学校教育環境の充実などを基本に予算編成に取り組みました。

当初予算は63億1900万円

平成29年度の一般会計当初予算総額は、前年度予算と比較して2・9％増の63億1900万円としました。
歳入の確保と歳出の抑制を基本に編成しましたが、7億円余りの財源不足となりました。
この財源不足額については、財政調整基金により調整しましたが、今後の財政運営に当たっては、一層効率的な予算の執行に努めるとともに、財政の厳しい状況を直視し、限られた財源の重点的・効率的な配分に努めます。

教育長教育行政方針

2月28日の町議会定例会の教育行政方針演述で菅波俊美（としみ）教育長は「軽米の将来を担う子供たちの健全な成長と生涯学習の町のさらなる発展を期するため、軽米町教育振興基本計画に基づき、教育行政の一層の推進に努めて参りたい」と決意を述べました。本年度の主な施策、事業などについてお知らせします。

教育行政方針を述べる菅波教育長

◆学校教育の充実について

【幼児教育の充実】

近年の家庭教育の変化に伴う保育ニーズに応えるため、預かり保育や給食の実施など子育て支援の充実を図りながら、安定した幼稚園運営に努めます。

【学力向上】

「確かな学力」を育むため、すべての学校に学力向上支援員を配置し、子どもの習熟度に応じた少人数指導の実施や、能動的な授業展開の充実で「わかる授業」を推進します。

また、夏休み、冬休みには臨時講師を招いての中学生学習会の開催など、学力の定着とスキルアップを図ります。

中学生を対象としたウィンター学習会

【特別支援教育の充実】

就学支援委員会で関係機関と連携を図りながら、児童生徒の様々な障がいの早期発見と支援体制の充実を図り、すべての学校に特別支援員を配置することで、きめ細かな指導や支援を進めます。

【道徳教育の充実】

子どもの人間性、社会性を伸ばし、協調性、思いやりなど豊かな心を育む授業を展開します。

【健康教育の充実】

規則正しい生活習慣による感染症予防や肥満予防など健康に暮らす知識と判断力を育てます。

学校給食では「町産食材」を活用した食育の推進と、給食費に対する助成を継続して子育て支援を図ります。

【環境教育の充実】

太陽光発電など再生可能エネルギーの活用に関する学習や各種リサイクル運動など、家庭や地域を巻き込んだ学習活動に取り組みます。

【キャリア教育の推進】

働くことの喜びや厳しさを感じ、自分の住む社会や将来を考える機会となるよう職場体験を実施します。

【国際理解教育の推進】

小・中学校への英語指導助手の継続配置、小中高合同の英語発表会の開催など、コミュニケーション能力の向上と国際理解を深めます。

一戸町と合同で中高生を海外に派遣し、グローバルな人材育成に取り組みます。

【情報教育の推進】

子どもがメディアと適切にかかわる習慣を身に付けさせるため、学校と家庭が連携して情報社会に生きる力を育みます。

実践的な研修を実施し、タブレットや電子黒板などのICT機器の活用力を高め、学習意欲と習熟度を高めます。

【適応指導の充実】

関係機関と連携しながらスクールカウンセラーなどを有効活用し、教育相談体制を確立します。いじめ防止に向けて、日常の見守りのほか、定期的なアンケートや面談の実施で、学校全体で組織的に対応するよう職員の意識を一層高めます。

【教員研修の充実】

授業改善研修会やICT活用授業研究会などの実践的な教員研修により、指導力や資質の向上を図ります。

【地域に開かれた学校づくりの推進】

学校だよりなどの積極的な情報発信のほか、授業参観や町内一斉学校公開日を設けるなど、地域に根ざした学校づくりに努めます。

【中高一貫教育】

軽米中学校、軽米高校の6年間を通じた系統的、継続的指導により、学力の向上を図るとともに、軽米高校の生徒に対して副食給食の実施や実用英語検定や漢字能力検定の受験料助成などの支援を続けます。

◆生涯学習のまちづくり

【生涯学習の推進】

生涯学習カレンダーを全戸配布し、学習機会の情報提供に努めるとともに、生涯学習推進員と連携し、住民のニーズを掘り起こしながら、自治公民館などを拠点とした地域の主体的学習活動を支援していきます。

◆社会教育の推進

【家庭教育支援】

子どもを持つ親を対象に、発達段階に応じた子育て、しつけ、食育などに関する家庭教育学級を開設し、子育て支援に努めます。

【放課後子ども教室】

放課後における子どもの活動拠点を設け、安全安心な居場所づくりに取り組みます。

軽米小学校での放課後子ども教室

【コーディネーターの活用】

コーディネーターにより学校行事を支援しながら、主に小・中・高等学校の学校図書館の運営を支援し、学校図書の活用促進と充実を図ります。

【青少年の健全育成】

小学生の音更町相互訪問研修や青少年リーダー研修などを通して、自然や福祉、文化・伝承活動など体験的な活動機会の充実を図りながら、将来地域を担う青少年が人間性豊かに成長するよう取り組みます。

【寿大学】

新たな学習課題を模索しながら、学校や地域とのつながりを深める講座の開設に努めます。

◆公民館、図書館運営

【中央公民館運営】

町民の文化的活動拠点として、各種町民講座の開催や文化協会などの活動団体の利用促進で、彩りのある芸術文化活動の推進に努めます。

【図書館運営】

蔵書の充実を図り、図書館ボランティアなどの協力による催しを開くなど、読書に親しむきっかけとなる親しみやすい図書館運営に努めます。

【生涯学習拠点施設の整備】

町の各種計画との調和を図りながら、生涯学習の拠点となる施設の整備を進めます。

◆生涯スポーツの振興

【町民の健康づくりの推進】

スポーツ施設、設備の充実に努めながら、誰もがスポーツに親しみ、体力の向上を目指すことができるよう、各種スポーツ活動への参加機会の拡大に努めます。

町民体育祭の物干し竿リレー

◆個性ある文化の創造

【芸術文化の振興】

町民文化祭、郷土芸能発表会、生涯学習フェスティバルの開催など、町民による文化活動の発表機会や、演奏会など優れた芸術文化を鑑賞する機会を作りながら、町民の創作活動を支援します。

【文化遺産の保存と伝承】

町内に存在する貴重な文化財を開発行為などで失うことのないよう、計画的に調査・発掘を実施し、記録保存に努め、文化財の愛護思想の普及を図るとともに、地域に伝わる芸能や郷土資料の伝承活動を支援していきます。

◆教育振興運動の推進

基本的生活習慣の向上や近年複雑化する情報メディアへの対応など地域における教育課題の解決のため、各実践区において、家庭や学校のみならず、地域全体で子どもの教育に取り組む機運を高めていきます。

教育振興運動集約集会

平成29年度　町役場 組織と職員配置（敬称略）

＜平成29年４月１日発令＞

太字は課長級職、◎はグループ長　☆は新採用、（併）は併任、（兼）は兼務、（再）は再任用、色付氏名は異動・昇格者

総務課

課長　吉岡　靖
企画グループ
◎**担当主幹**　梅木勝彦
主事　菅原里枝
主事　川原愛実
主事　下谷地さくら
☆主事　清水裕輝
運転手　工藤　剛
用務員　田中裕子
（再）主任主査　日山　充
総務グループ
◎主任主査　小笠原達夫
主任　山下善昭
主事　小笠原信也
主事　笹山泰嵩
主事　苅谷太基
（併）☆主事補　久保田真由
（再）主任主査　中村利見
総務課付
（山田町派遣）　外山和寿
（二戸地区広域行政事務組合派遣）　上村利広
（社会福祉協議会派遣）　（再）山田　元
（特別養護老人ホームいちい荘派遣）　（再）高橋良春

選挙管理委員会事務局

（併）**事務局長**　吉岡　靖
☆書記　久保田真由

税務会計課

会計管理者兼課長　小笠原　亨
会計グループ
◎**担当主幹**　戸田沢光彦
主事　野中翔平
収納グループ
◎課長補佐　橋本邦子
主査　輪達ひろか
主事　川島幸徳
課税グループ
◎課長補佐　福島貴浩
主任主査　日山一則
主査　寺地隆之
主事　小野寺悟
主事　脇山春陽

町民生活課

課長　川島康夫
総合窓口グループ
◎**担当主幹**　福田浩司
主任主査　古舘寿徳
主任　紫葉千賀子
主事　木戸口美里
町民生活グループ
◎課長補佐　川原木祐子
主任主査　橋場光雄
主任主査　鶴飼靖紀
主事　山田のぞみ
主事補　福田丈幸
主事補　清藤文喜
●小軽米出張所
（再）主査　小笠原邦之

健康福祉課

課長　於本一則
健康づくりグループ
◎**担当主幹**　大西　昇
上席主任栄養士　工藤晃子
保健師長　日向安子
上席主任看護師　藤田美枝子
主任社会福祉主事兼栄養士　山田里美
保健師　小林真由美
保健師　瀧澤さやか
（再）主任保健師　中里早苗
（再）主任保健師　櫻場栄子
福祉グループ
◎**担当主幹**　坂下浩志
主事　加藤美紀
主事　山下博之
主事　日山菜穂実
主事補　明岡　寿
上席主任看護師　内城良子
主任看護師　下谷地由美子
社会福祉士　田代沙織
保健師　八幡美紀
●軽米保育園
園長　角田貴浩
園長代理　中村由季
主任保育士　下斗米　敏
主任保育士　樫澤順子
保育士　安藤美由紀
保育士　滝沢暢子
保育士　古川　唯
保育士　田中里実
調理師　新井田直子
（再）保育士　石川敦子
●小軽米保育園
園長　外山　充
園長代理　川崎弥生
保育士　大清水恵
保育士　増尾祐子
保育士　藤田由貴子
保育士　松山あずさ
調理師　平船シズエ
●晴山保育園
園長　坂本　修
園長代理　小林留美子
保育士　坂本麻衣子
保育士　金田奈々
保育士　日山侑香
保育士　金山晃司
●笹渡保育園
園長　長坂佐知子

健康ふれあいセンター

所長　堀米豊樹
居宅サービス・居宅介護支援グループ
◎所長補佐　松浦近子
生活相談員　梅木久美子
介護福祉士　杉浦謙二

産業振興課

課長　高田和己
農政企画グループ
◎課長補佐　畑中幸夫
主任主査　戸草内和典
主任　紫葉優樹
主事　小林　誠
主事　関向幹也
農林振興グループ
◎**担当主幹**　小林　浩
主任主査　小笠原隆人
主任主査　関向孝行
主事　小野寺繭子
商工観光グループ
◎**担当主幹**　松山　篤
主事　玉舘　透
主事　兼田一史
主事補　小野寺史葉
（再）主任主査　新井田一徳

農業委員会事務局

（併）**事務局長**　高田和己
（併）局長補佐　畑中幸夫
（併）主任　紫葉優樹
（併）主事　小林　誠
（併）主事　関向幹也

地域整備課

課長　川原木純二
環境整備グループ
◎**担当主幹**　江刺家雅弘
主任主査　竹澤泰司
主任主査　輪達隆志
主任主査　神久保恵蔵
主事　玉舘博一
運転手　池田明広
（再）運転手　高田和生
上下水道グループ
◎課長補佐　日脇邦昭
主任主査　長瀬設男
主任主査　中村勇雄
主事　大村亮憲
主事　川崎彩香
運転手　苅敷山佳樹
☆技師補　工藤航也
（再）主任主査　鎌戸和則
※水道事業所職員を併任

再生可能エネルギー推進室

室長　平　俊彦
主任主査　野中孝博
（再）主任主査　野中　勲

教育委員会事務局

教育次長　佐々木　久
教育総務グループ
◎次長補佐　工藤　薫
指導主事　八ツ役真司
主任主査　吉岡芳幸
主任　寺地亜紀子
主任　千葉久司
主事　横島咲菜
運転手　古舘義明
生涯学習グループ
◎**担当主幹**　大清水一敬
次長補佐　工藤祥子
主査兼学芸員　藤田直行
主事　大川訓寿
☆主事兼学芸員　笹間正紘
主事　関向哲志
主事兼社会教育主事　古里結美
●町立図書館・軽米中央公民館
館長　佐々木　久
（兼）次長補佐　工藤祥子
主査　於本博之
●軽米幼稚園
園長　圃田清和
園長代理　野中恵美子
主任教諭　山仁江利子
教諭　吉田彩香
（再）教諭　内澤典子
●学校用務員
軽米中　藤嶋百合子

議会事務局

事務局長　佐藤暢芳
局長補佐　小林千鶴子
主査　鶴飼義信
※監査委員事務局を併任

【退職者】敬称略

（平成29年３月31日付）
日山　充（総務課長）
山田　元（税務会計課長）
中野武美（町民生活課長）
新井田一徳（地域整備課長）
長井茉侑（晴山保育園保育士）

新採用職員を紹介

よろしくお願いします！

総務課　主事
清水　裕輝（ゆうき）（米田・24歳）
町民のお力になれるよう、謙虚に、前向きな姿勢で頑張ります。

地域整備課　技士補
工藤　航也（こうや）（二戸市・22歳）
軽米の美しい町に魅了されました。軽米町のよさを広められるように美しい町づくりに貢献します。

教育委員会事務局　主事兼学芸員
笹間　正紘（まさひろ）（下新町・31歳）
新天地にて一からスタートし、町民の皆様と手を取り合って、町のために全力を尽くして参ります。

選挙管理委員会事務局　書記
久保田　真由（まゆ）（駒板・22歳）
生まれ育った軽米町と町民の皆さまの役に立てるよう、精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

-平成28年度岩手県消防表彰式-

消防活動に貢献した功労者27人が受章

山舘団長に功労賞

受章の報告に山本町長のもとを訪れた消防団員たち

岩手県消防表彰式が3月15日に盛岡市の岩手県民会館で開催され、町の消防団員や婦人消防協力隊員など、長年にわたり消防活動に貢献した功労者27人に表彰状と記念品が贈られました。

町消防団の副団長を6年、団長を7年務めてこられた山舘松五郎団長は、特に優秀な消防団員に贈られる消防庁長官功労章を受章しました。

表彰式後、受章者は役場を訪れ、山本賢一町長に受章の喜びを報告。山本町長は「皆さんの長年の努力と功績が今回の受章につながったものであり、心からお祝いいたします。これからも町民の安心・安全のため、一層の活躍を期待します」と団員たちを労いました。

各章と受章者は左のとおりです。（敬称略）

賞状を手に町長のもとを訪れた山舘団長（左）

★消防庁長官表彰
【功労章】山舘松五郎（団長）
【永年勤続功労章】坂本昌彦（副本部長）

★岩手県知事表彰
【功績章】工藤弘（副分団長）
宮本健一（部長）
鶴飼治彦（部長）
増尾俊之（部長）
槻木澤光広（部長）

★日本消防協会長表彰
【精績章】小笠原充夫（本部付分団長）
【勤続章】田代啓吉（本部長）
畠澤徳行（本部付分団長）
福田喜代志（本部付分団長）
高柳恒雄（本部付分団長）
鶴飼利幸（分団長）
古里素祐（分団長）
小林光浩（部長）
槻木澤光広（部長）
玉田明彦（班長）
日山武彦（団員）

★岩手県消防協会長表彰
【功労章】佐藤榮一（本部付分団長）
高橋薫（本部付分団長）
【功績章】高柳恒雄（本部付分団長）
鶴飼利幸（分団長）
古里素祐（分団長）
【内助功労】竹澤京子（副分団長令夫人）
畑林タ子（副分団長令夫人）
【優良協力隊員】
松山美子（増子内地区隊員）
附柳テイ子（笹渡地区隊員）

固定資産評価審査委員に後藤さんを選任

軽米町議会3月定例会で、任期満了に伴う固定資産評価審査委員の選任に関する同意案が可決され、後藤良孝さん（下新町）が選任されました。

これまで、同委員を4期務められた小笠原久志さん（向川原）の後任として新たに選任されました。

任期は平成32年3月31日までです。

後藤　良孝さん

固定資産評価審査委員会とは

固定資産評価審査委員会とは、固定資産台帳に登録された価格に関する不服を審査決定するため市町村に置かれる中立的な第三者機関です。

町教委児童・生徒表彰

模範的活動を奨励

平成28年度の軽米町教育委員会児童・生徒表彰が町内の小中高生9人に贈られました。

平成28年度に新たに作られた同表彰は、人命救助や福祉活動などに贈られる善行賞、活動の成果に対する奨励賞、地道な努力に対して贈る努力賞の3つがあり、今回は全員に奨励賞が贈られました。

1人ずつ名前を呼ばれ表彰を受けました

受賞者と成績一覧

池端大心（軽米小2年）
「第65回夏休み良書推薦運動読書感想文コンクール」岩手県学校図書館協議会長賞
山舘瞬（軽米小3年）
「ふるさとの田んぼと水子ども絵画展」ふるさと水と土優秀賞
若山雫（軽米小3年）
「第28回読書感想画岩手県コンクール」最優秀賞
福田梨琴（小軽米小3年）
「第26回日専連全国児童版画コンクール」日専連盛岡理事長賞
古里蓮（晴山小3年）
「青少年読書感想文全国コンクール」小学校中学年の部サントリー奨励賞
土佐慈（軽米中3年）
第50回中学生の「税についての作文」東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞
久保美乃（軽米中3年）
同岩手県納税貯蓄組合連合会会長賞
福田竜也（軽米高3年）
「岩手県民体育大会兼国民体育大会選考会」優勝
松浦良太（軽米高3年）
同準優勝

スポーツは健康の秘訣

町ゲートボール協会員たちに表彰状

公益財団法人日本ゲートボール連合表彰で、町のゲートボール協会の皆さんが表彰を受けました。健康功労者表彰を受賞した君成田きよさんは「楽しくプレーしているうちに、気づけば40年も続けていた。大会で勝ち上がると全国いろんなところに行くことができて思い出がたくさんです」とこれまでを振り返りました。

受賞者と受賞内容は次のとおりです。

受賞者一覧（順不同、敬称略）

健康功労者

大鳥キヨ（上新町）、君成田キヨ（観音林東）

審判員功労者

奥谷克吉（屋敷）、奥谷誠四郎（屋敷）、中村幸助（小玉川）

大鳥キヨさん

君成田キヨさん

中村幸助さん

奥谷誠四郎さん

奥谷克吉さん

◆皆さんの地域の話題や情報をお待ちしています。
総務課広報担当（☎４６－２１１１・内線２０６）までご連絡ください

国体の成功を祝い、町のスポーツの発展誓う

希望郷いわて国体町実行委員会第４回総会

特別感謝状を受け取る軽米小学校の佐々木正太君（左）

平成28年10月に開催され、当町では軟式野球競技が行われた希望郷いわて国体の軽米町実行委員会の第４回総会が３月21日に町農村環境改善センターで開かれました。総会の前には、実行委員会会長の山本賢一町長が「町民の皆さまのご協力により、すばらしい大会運営ができました」とあいさつし、会長から国体運営に協力いただいた各団体に対して特別感謝状が贈られました。

総会では、事業報告と収支決算、実行委員会の解散を求める議案などが可決され、同実行委員会は３月31日に解散しました。

【特別感謝状受賞団体】（順不同）

軽米小学校、小軽米小学校、晴山小学校、軽米中学校、軽米高等学校、町野球協会

【感謝状受賞団体】（順不同）

軽米幼稚園、軽米保育園、小軽米保育園、晴山保育園、笹渡保育園、町商工会、町防犯協会、町交通指導隊、町スポーツ推進委員協議会、町スポーツ少年団、絵画クラブ「遊画会」、図書館ボランティア「手仕事クラブ」、花育てボランティア「花のおもてなし会員」、運営ボランティア協力者の皆さん、希望郷いわて国体軽米町実行委員会実行委員

昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

３月１日、音更高校で卒業式が行われ１６４人が学びやを後にしました。このうち今年度で閉課する定時制課程農業科では、最後の卒業生１１人が卒業証書を受け取りました。式後のホームルームでは一人ずつ全員が別れのことばを述べ、最後に笑顔で恩師と記念撮影に収まりました。

最後の卒業生が巣立つ

湯気が切れ、水面が現れるのを待つ地元の人々

今年一年の吉凶を占う

円子神社御湯釜祭

円子神社で３月15日、『御湯釜祭』が行われました。釜の中に沸いたお湯をかきまぜ、立ち上る湯気の切れ方により吉凶を占うこの行事は250年以上の歴史を持ち、藩主の病気の治癒を願った祈祷が始まりとされているそうです。農産物や、畜産物の出来と価格のほか、地震や台風といった災害などを占い、米や雑穀など五穀の出来は今一つということですが、その他はおおむね良好とのことでした。

読書好きの子どもたちに表彰状

町読書のつどい

町読書のつどい（町教育委員会・町立図書館主催）が２月25日、中央公民館で開催されました。14人の児童に子ども司書認定証が授与されたほか、読書に関する作品コンクール表彰式が行われました。また、ピエロの「くらうん・しゅがー」による読み聞かせ絵本ライブが行われ、会場は拍手と笑い声に包まれました。

子ども司書の認定者とコンクールの最優秀賞受賞者は以下のとおりです。（学校・学年は受賞当時、敬称略）

■子ども司書

大崎杏奈（軽米小３年）、佐々木璃音（同３年）、菅原静（同４年）、安藤早矢加（同５年）、上村麗（同５年）、江刺家聖桜（同５年）、関向怜奈（同６年）、原田葵菜（小軽米小４年）、松田杏祐実（同５年）、山野下華涼（晴山小３年）、畑中美緒（同３年）、小笠原たまき（同３年）、古里蓮（同３年）上村怜音（同５年）

くらうん・しゅがーの読み聞かせ

■読書感想画部門

〈小学校１・２年の部〉菅原瑛麗那（軽米小２年）

■読書感想文部門

〈小学校３・４年の部〉畑中美緒（晴山小３年）

〈小学校５・６年の部〉平光花（同６年）

■書評部門

〈中学校の部〉宮川真優（軽米中２年）

きれいに作ったおひなさま

晴山保育園ひな祭り

晴山保育園（小笠原亨園長、園児55人、当時）で３月３日、ひな祭りが行われました。ホールに飾られた雛壇の前で童謡「うれしいひなまつり」を歌った園児たちは、保育士からのひな祭りに関するクイズに答えたり自分たちで作ったおひなさまを発表して楽しみました。本田好ちゃん（６歳）は「折り紙とクレヨンでおひなさまを作った。服をつくるのが難しかった」と感想を話しました。

軽米町の特産品が並んだ物産コーナー。来場者に自慢の品をPRしました

軽米の観光と物産のＰＲ

観光と物産キャンペーン

観光と物産キャンペーン（町観光協会主催）が３月４日と５日、八戸市で開催され、『かるまいブランド認証品』をはじめ町の特産品が販売されました。笹渡星流太鼓の演奏に来場者から拍手が贈られ、さるなしのクリームを使用した長いロールケーキ作りやチューリップ苗のプレゼントなど、町の物産と軽米町のチューリップをＰＲしました。

笑顔あつまれ！　みんなの広場

キラキラ光る

町の魅力を伝えたい

松脇　正典（まさのり）さん
（31歳、七ツ役）
身長156（セン）、A型
㈱軽米町産業開発

株式会社軽米町産業開発に勤めて3年目になる松脇さん。

Q、自分の性格を一言で言うと？

くどい。と家族には言われます。

Q、今の職業をやってみて？

自分の知らなかった軽米（特産品、地域、生産者）を知ることができて、新鮮で楽しいです。これからも商品の販売を通じて軽米の魅力を伝えていきたいです。

Q、趣味や休日にやることは？

読書やゲームなどのインドアな趣味のほか、陶器収集（主にコーヒーカップ）やドライブなど外に出かけるのも好きです。

Q、あなたの夢（目標）は？

沢登りや滝登りをしてみたいです。

Q、町をどう思いますか？

静かであることのぜいたくさ。町の人も知らない魅力が隠れているまちだと思います。

▼好きなスポーツ…高校野球、駅伝、バレーボール

▼好きな食べ物…ブラックチョコレート、ブラックコーヒー

▼今欲しいもの…ブルーライトカットメガネ、タンブラー

▼理想の異性のタイプ…明るい人が好きです。芸能人は詳しくないのでわかりません。

今月の俳句（北光吟社2月例句会）

夕陽（ゆうひ）いま枯木林の中で燃（も）ゆ　三上　千栄女

薄氷（うすらひ）の解（と）けて魚影（ぎょえい）のみえかくれ　君成田　美代子

冬晴（ふゆばれ）や雪解（ど）け水の流れ合う　高橋　美智子

開発（かいはつ）を知らぬごとくに山眠（ねむ）る　川﨑　郁子

反射（はんしゃ）する光のまぶし雪解水（ゆきげみず）　丹下　美恵子

桜色の姉のお骨（こつ）や雪割草（ゆきわりそう）　千葉　ふみ子

厳寒（げんかん）のリハビリはげみ退院（たいいん）す　早川　慶子

落雪（らくせつ）を恐（おそ）れ見上げる軒（のき）の先　東　登希枝

雪解（ゆきどけ）や町並（まちなみ）長し蓮台野　川島　由蔵

夜明け待ち軒の雀（すずめ）や春を待つ　千葉　紅園

過疎（かそ）の地も市（いち）の賑わい水温（みずぬる）む　中野　とき子

咲き満ちて花形（かけい）おのづと君子蘭（くんしらん）　松村　英子

※町文化協会「北光吟社」の例句会より俳句を紹介しています

やさしく元気な軽米小

■夢・希望・えんぴつ■

軽米小学校　6年
葛西　直樹（なおき）くん
（萩　田）

ぼくは、今年度の児童会長になりました。児童会長としてがんばりたい事は3つあります。

1つ目は、あいさつです。あいさつをすると皆が笑顔になるし、学校全体が明るくなるからです。そのために、ぼくたち高学年が、下級生の手本になるようなあいさつをして、明るい学校にしたいと思います。

2つ目は、廊下歩行です。廊下歩行は、ここ数年達成できていない目標です。廊下を走る人は少なくなりましたが、廊下の右側を歩いていない人をよく見かけます。これでは、ぶつかって転倒の危険があります。だから、安全のために右側を歩くように、呼びかけます。

3つ目は、言葉づかいです。乱暴な言葉づかいは知らないうちに、その人をきずつけているかもしれません。ていねいな言葉づかいをすることは、相手を思いやる気持ちの始まりだと思います。

これからは、この3つのことを目標に、全校で力を合わせて、よりよい学校にしていけるようにがんばります。目指せ、「やさしく、元気な軽米小」。

地域活性化に活用ください！

町民体育館の備品貸出しのご案内

町教育委員会では、地域活性化を目的に町内の団体へ備品を無償で貸し出しています。地域でのイベントを盛り上げるために、ぜひご活用ください。詳しくは同事務局（☎４６－４７４４）までお問い合わせください。

④

①

⑤

■貸出対象：各行政区、町内会、子ども会など

■貸出備品

番　号	物　品　名	個　数
①	簡易ステージ	20台
②	ユニカール	2セット
③	わなげ	2セット
④	ストラックアウト	2セット
⑤	シャフルボード	2セット

■その他：備品の運搬は利用者側でお願いします。

訂正とお詫び

3月22日発行の広報かるまいお知らせ版の記事の内容に一部誤りがありました。

下記のとおり訂正してお詫びいたします。

第2野球場の使用料金

【誤】1時間当たり５００円

⇒【正】1日あたり５００円

生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所（☎４６－２００４）

～春の交通安全運動の実施～

４月６日
～16日まで

スローガン　【おともだち　むこうにいても　みぎひだり】

≪運動の重点≫

〇子どもと高齢者の交通事故防止
〇歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
〇後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
〇飲酒運転の根絶

●子どもと高齢者の交通事故防止

子どもや高齢者を見かけたら、スピードを落とし、安全な間隔を保つなど思いやりのある運転を心がけましょう。

●歩行中・自転車乗用中の交通事故防止

歩行者も自転車も道路を通行するときには「止まる・見る・待つ」の安全運転を心がけて、交通事故を防止しましょう。

●後部座席を含めた全ての座席のシートベルト・チャイルドシートの正しい着用の徹底

車に乗った全ての人にシートベルト・チャイルドシートを正しく着用させ、交通事故から大切な命を守りましょう。

●飲酒運転の根絶

「飲酒運転をしない・させない」の合言葉を徹底し、ドライバーの方はもちろん、家族・職場・周囲の皆さんも協力して飲酒運転を根絶しましょう。

２月の事故と救急の数字

▶町内の交通事故、救急車出動回数

	当月	累計	昨年比
人身事故	０件	０件	－３
死亡者	０人	０人	±０
負傷者	０人	４人	－３
物損事故	16件	35件	－５
救急車出動回数	23回	60回	－15

※（累計）は１月からの合計です。見直しにより前月の数値と異なる場合があります

▶２月の飲酒運転検挙者はありません

図書館だより

町立図書館（☎４６－４３３３）

ー今月の新刊ー

図書館利用案内

日時：4月15日(土) 10:00 ～ 11:00　対象：幼児
場所：図書館となりの蔵　　小学校低学年

【児童書】

くらやみのなかのゆめ

作/クリス・ハドフィールド
絵/ザ・ファン・ブラザーズ
訳/さくまゆみこ

真っ暗な寝室がこわかったクリス。でも、宇宙飛行士が月に降り立つのをテレビで観てからは…。宇宙飛行士になる夢を叶えた作者による、宇宙への想いが広がる絵本。

（小学館）

音が出るおもちゃ＆楽器あそび

著 / 吉田未希子

ボトルマラカス、フローティングドラム、笛ふきキツネ、ウクレレバンジョーなど音が出るいろいろな工作を紹介。道具の基本的な使い方も説明します。

（いかだ社）

【一般書】

10年後、君に仕事はあるのか？
未来を生きるための「雇われる力」

著/藤原和博

人工知能、グローバル化に就活の地殻変動、仕事が消滅していく社会で身につけるべき力とは？「稼げる大人」になる対処法を、高校生に語りかけるスタイルで大人にも問いかける。

（ダイヤモンド社）

バラ色の未来

著/真山仁

首相官邸にプラスチックのコインを投げつけていた男は、総理のIR指南役とまで呼ばれた元名物町長だった。誘致失敗の裏に何があったのか―。果たして、カネは人を幸せにするのか？

（光文社）

目指そう！はつらつ人生

健康福祉課福祉グループ（☎４６－４７３６）

介護予防・日常生活支援総合事業が始まります

町内３か所で総合事業についての住民向け説明会とあわせて
介護予防体操・筋力向上運動の様子です

４月１日より、二戸広域管内でも介護予防・日常生活支援総合事業（以下、総合事業）が始まりました。

総合事業により、これまでは要支援１・２の認定を受けて利用していたヘルパーやデイサービスなどの介護保険サービスを、介護給付から地域支援事業へ移行することで、認定を受けなくてもサービスが利用できます。（チェックリストを行うことで認定調査や主治医意見書などが省略され、サービス利用開始までの期間が短縮できます）

＊　平成29年4月１日以前より、認定をうけてサービスを利用している方は、利用中のサービスを引き続き利用できます。

これからは、事業所によるサービスだけでなく、若い世代から元気で健康な高齢者の方々まで、ボランティア活動により地域の中で介護予防を行うことが理想となります。総合事業の詳しい内容は、二戸広域行政事務組合が発行する広報でもお知らせする予定です。お問い合わせは、健康福祉課福祉グループまでご連絡ください。

文夫に育つ　元気に働く　健やかに過ごす

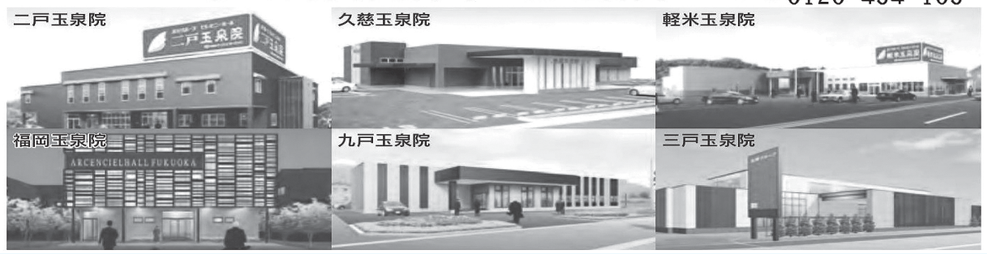
健康福祉課健康づくりグループ（☎４６－４１１１）

野菜をもっと食べよう

健康福祉課
栄養士
山田　里美

健康のためには欠かせない「野菜」。毎日食べていると思っていても、実はすべての年代で「野菜不足」の傾向にあるといわれています。野菜にはカリウムやビタミン、食物繊維など健康維持のために大切な栄養素が豊富に含まれています。目標は一日３５０ｇですが、現状では３５０ｇには達していない状況です。野菜が不足するとだるくなったり、便秘がちになります。また、肥満になりやすく、糖尿病や動脈硬化などの重い病気の誘因になります。充分に野菜を摂るために、今より１皿野菜料理をふやしましょう。また、蒸したり、ゆでたりしてかさを減らす。汁ものは野菜をたっぷり具だくさんにする。電子レンジで簡単に調理をするなど工夫してみましょう。野菜をたくさん食べると減塩にもつながります。毎日野菜をたくさん食べて、生活習慣病を予防しましょう。

玉泉院　《24時間受付中　お電話下さい》フリーダイヤル 0120-494-109



（広告スペース）

※広報かるまいでは、町内の業者などの広告を掲載しています

町のこよみ・かるまいカレンダー

4月　April

16	日	
17	月	
18	火	
19	水	介護者のつどい【公】13：30～15：30
20	木	
21	金	
22	土	まちの相談室【物産交流館】9：30～11：30
23	日	休日納税相談【税務会計課】
24	月	うまっこ教室【ふ】9：30～12：00、 夜間納税相談【税務会計課】～25日
25	火	
26	水	３歳児健診【ふ】13：00～13：30受付
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	

5月　May

1	月	町税の納期限（固定資産税第１期、軽自動車税）
2	火	まちの相談室【物産交流館】9：30～11：30
3	水	【憲法記念日】 軽米町のチューリップ園イベント10：30～14：00
4	木	【みどりの日】
5	金	【こどもの日】 軽米町のチューリップ園イベント、林業振興祭り10：30～14：00
6	土	
7	日	芝桜チューリップウオーク【ハ・他】10：00～12：00 「森と水とチューリップ」パークゴルフ大会【ハ】9：00～
8	月	
9	火	
10	水	乳児健診【ふ】13：00～13：30受付、 寿大学開講式【公】10：00～
11	木	婦人健診【笹渡農業構造改善センター】9：00～10：00、 【小玉川生活改善センター】13：00～14：00
12	金	婦人検診【晴山公民館】9：00～10：00、 【高家生活改善センター】13：00～14：00
13	土	
14	日	婦人検診【ふ】9：00～11：00、 芝桜スポーツフェスティバル～６月11日まで
15	月	婦人検診【環】13：00～15：30、17：00～18：30

（カレンダー中の【　】は開催場所で下記のとおり表示します）
体:町民体育館　環:農村環境改善センター　公:中央公民館
図:町立図書館　病:県立軽米病院　ふ:健康ふれあいセンター
老:老人福祉センター　フ:雪谷川ダムフォリストパーク・軽米
ミ:ミレットパーク　歴:歴史民俗資料館　ハ:ハートフル・スポーツランド　運:町営運動場　ゲ:ゲートボール場

お知らせ情報 Information

スナップ写真館

晴山保育園ひな祭り
（３月３日、12ページに関連記事）

始めに３月生まれのお友達の誕生日をお祝いします。

みんなで「うれしいひなまつり」を歌います

保育士からのクイズに答えながらひなまつりを楽しみました

もっと知ろう
みんなの国民年金

学生納付特例制度

20歳以上の方は、学生でも国民年金に加入し保険料を納めることになります。

しかし、学生の方は所得が少ないなどの理由で国民年金保険料を納めることが経済的に困難な場合があるため、納付が猶予される『学生納付特例制度』があります。

対象となる方は、大学など（修学年限１年以上である課程）に在学する20歳以上の方で、ご本人の前年所得が一定額以下であることが条件です。

〈所得のめやす〉118万円＋{扶養親族等の数×38万円}

学生納付特例の承認期間は４月から翌年３月までとなります。お手続きの際には、年金手帳、在学証明書または学生証（写しでも可）、認印をご持参ください。

※　詳しくは、二戸年金事務所（☎２３－４１１１）または町民生活課（☎４６－４７３４）にお問い合わせください。

内科(9:00～17:00)　休日当番医　歯科(9:00～12:00)

千葉耳鼻咽喉科医院（☎23-2009）	二戸市福　岡	４月16日（日）		こしみず歯科クリニック（☎33-4618）	一戸町一　戸
小野寺クリニック（☎46-2822）	軽米町門　前	23日（日）		渡辺歯科医院（☎23-2052）	二戸市堀　野
おりそ内科循環器クリニック（☎22-2251）	二戸市	29日（土）		國香歯科医院（☎23-2764）	二戸市石切所
浄法寺診療所（☎38-2021）	二戸市浄法寺	30日（日）		森川歯科医院（☎23-6361）	二戸市堀　野
松井内科医院（☎33-2201）	一戸町一　戸	５月３日（水）		右門歯科クリニック（☎38-2288）	二戸市浄法寺
菅整形外科皮膚科クリニック（☎23-7311）	二戸市石切所	４日（木）		沢藤歯科医院（☎25-4002）	二戸市堀　野
川村医院（☎23-3252）	二戸市福　岡	５日（金）		ムカイダ歯科クリニック（☎46-4636）	軽米町蓮台野
いちのへ内科クリニック（☎33-2701）	一戸町高善寺	７日（日）		ますだ歯科クリニック（☎26-8282）	二戸市石切所
齋藤産婦人科医院（☎23-2505）	二戸市石切所	14日（日）		岩渕歯科医院（☎32-2238）	一戸町一　戸

広報かるまいへの広告掲載者を募集

広報かるまいでは、町内業者などからの広告を募集しています。

広告掲載料：４，０００円/月
（６カ月以上掲載の場合は３，０００円/月）

詳しくは、下記までお問い合わせください。
（問）役場総務課企画グループ（☎４６－２１１１）

歯のテレホン相談室

●催事名
「ヨイ歯デーテレホン相談」
●実施日　４月18日（火）
●受付時間　10：00～19：00
（回答は協会歯科医師か折り返しお電話します）
●受付内容
歯あるいは口に関する悩み
【問い合わせ先】県保険医協会（☎０１９－６５１－７３４１）

在職者訓練能力開発セミナー

二戸高等技術専門校では、在職者に向けた各種訓練を行っています。申し込みは定員になり次第締め切ります。詳しくは問い合わせ先へご連絡ください。

■コース名と訓練期間（４～６月）
○ＴＷＩ管理監督者研修
（４月18～19日）
○ビジネスマナー・接客
（５月24～25日）
○Ｗｏｒｄビジネス活用
（６月７～８日）
○管理職研修
（６月21～22日）
【問い合わせ先】二戸高等技術専門学校（☎２３－２２２７）

東北財務局からのお知らせ

■住宅ローンなどの免除・減額
個人の方で、台風10号の影響で住宅ローンなどの返済にお困りの方はいませんか？「自然災害による被災者ん債務整理に関するガイドライン」により、住宅ローンなどの免除や減額を申し出ることができます。詳しくは、ローンの借入先へお問い合わせください。

■「金融相談窓口」設置
台風で被災された皆様からのご相談に対応しています。
○相談内容
預金、融資、生命保険・損害保険、融資など
○連絡先
盛岡財務事務所

■多重債務相談窓口
自らの収入で返済しきれないほどの借金を抱え、お悩みの方からの相談に応じています。
○時間　月～金曜日
8：30～16：30

■出前講座
地域のコミュニティ活動や各種団体などの会合で、金融犯罪未然防止のための出前講座を行っています。
【問い合わせ先】東北財務局盛岡財務事務所（☎０１９－６２２－１６３７）

（公財）さんりく基金助成事業募集

公益財団法人さんりく基金では、県北沿岸地域の振興のための事業に対して、様々な助成を行っています。

平成29年度事業を以下のとおり募集しますので、希望する方はお申し込みください。

詳しくは下記までお問い合わせください。

■助成事業と内容、申込締切など（町内対象事業のみ掲載）
○県北沿岸地域特産品開発事業
・対象：県北沿岸地域の事業者
・助成限度額：65万円（4/5以内）
・応募締切：４月28日（金）
○地域コミュニティ再生支援事業
・対象：地域住民が主体となって活動する団体
・助成限度額：100万円（10/10以内）
・応募締切：５月25日（木）
○イベント開催助成事業
・対象：県内の地域振興活動団体
・助成限度額：1,500万円(2/3以内)
・応募締切：５月25日（木）
【申し込み・問い合わせ先】公益財団法人さんりく基金事務局（☎０１９－６２９－５２１２）

仕出し御膳　味彩（あじさい）
お膳・折詰・弁当・オードブル
お祝いごとやご法事等に
お気軽にお電話ください
☎４６－３６８０　手造りの店　味彩（あじさい）

ヘアーサロン MOON（ムーン）
ヘッドスパやお顔そりもあります。
★受付時間★
８：00～20：00
（火曜日は定休日です）
★住所★
軽米町晴山19-24-5
☎４３－４２５２　担当：下岩愛子

（広告スペース）
※広報かるまいでは、町内の業者などの広告を掲載しています

広報
かるまい
4
平成29年
4月号
(No.697)

我が家の人気者

すこやかさん

（左から）荒木田　星翔（せな）くん　（8歳）
翔琉（はる）くん　（4歳）
萌乃（ほの）ちゃん（1歳）

愛称：せな、はるちゃん、ほのこ
（山内大久保）知也さん・恵美さんの長男・次男・長女

いつもはお母さんの取り合いをしているという3きょうだい。今日は仲良く遊んでいるところをパチリ。

（両親から一言）
病気、けがに気をつけて、元気に毎日を重ねていきましょう。

表紙のことば

町の子育て支援センター「ピヨピヨ広場」の修了式が3月6日に同教室が開かれている青少年ホームで行われました。

就学前の子どもと保護者が気軽に集まり、交流できる場として設置されていて、この日は広場を巣立つ6人と保護者がカップ寿司で会食したり施設の職員へ感謝の言葉を贈ったりと、それぞれに別れを惜しみました。4月から町内の幼稚園や保育園に入園します。

冠婚葬祭　2月分　＜敬称略＞

おめでた　（　）内は父母の名

下晴山　小野寺　栞（かん）　希（の）　（悟・美文）

おくやみ　（　）内は享年

萩田	桂川　ノブ	(85歳)
上円子	林　静枝	(89歳)
駒板	藏野下　ヒサ	(84歳)
向川原	佐々木　喜久	(89歳)
上河南	圃田　士女子	(95歳)
上新町	日向　章	(73歳)
本町	中村　榮子	(84歳)
上円子	蛇口　正男	(81歳)
下新町	佐々木　明	(88歳)
上円子	淺水　キヌ	(85歳)
山田	日脇　ミヨ	(90歳)
下河南	玉田　サツ	(78歳)

●人の動き ＜平成29年2月28日現在／町民生活課調べ＞

男　4,672人（＋7）／女　4,885人（－3）

合計　9,557人（＋4）／世帯数　3,763（＋2）

※（　）は前月比

転入　26人（33人）／転出　10人（27人）

出生　1人（6人）／死亡　13人（33人）

※（　）は1月からの累計

ほっとひといき／編集後記

今月号では、スポーツや文化活動、消防団活動で活躍した皆さんをたくさん紹介することができました。

これからも、嬉しい話題で軽米町と皆さんの名前が広まることを願いつつ、それを伝えることができなくなる寂しさを感じます。

この度、広報担当を卒業し、後任の清水君にバトンを繋ぎます。これからは取材でなく、ゆっくりと町のイベントを楽しみます。

最後に、4月からの新しい担当業務を少しだけ。春は、風が強く、火災の発生しやすい気象状況となっています。火の取り扱いには十分注意しましょう。

3年間お読みいただき、本当にありがとうございました！（小笠原信也）

発行／岩手県軽米町　編集／総務課
〒028-6302　九戸郡軽米町大字軽米10-85
電話　0195-46-2111(代)
FAX　0195-46-2335
ホームページ　http://www.townkarumai.iwate.jp/